

令和2年11月18日

今後の子ども会活動について

一宮市児童育成連絡協議会

会長 内田 清

～新しい生活様式による子ども会活動～

今年度の子ども会活動は、コロナ禍において例年どおり行うことは非常に厳しい状況です。その中でも「新しい生活様式」による感染防止の対策を徹底するなどの工夫で、感染リスクは低くなると考えられます。子ども会活動での感染発生を防ぐために、出来る対策（3密を避ける、手指消毒、マスク着用、検温等）を確実に実施し、子ども達が安心・安全に楽しめるような創意工夫をした活動となるようにお願いします。また、対策を十分に取れない場合は、実施方法の変更、延期、中止もご検討ください。

コロナ禍における育成者の心得

—— 感染防止対策の留意点 ——

子ども会活動を実施される場合には、企画段階・活動前・活動中・活動後のそれぞれの段階において、以下のことに留意し活動するように心掛けてください。

1. 家庭での健康観察等

- 学校からの指示で行っている「健康チェック」に参加当日も行い、自宅で検温する。
- 体調不良の場合は、無理をせず、子ども会活動への参加を控えるようにする。

2. 活動前（当日）の基本的な感染症対策

- 活動場所には、入室者数の制限等を設けている場合があるため事前に確認する。
- 当日、子どもや育成者を含む参加者の健康チェックを行い、参加者名簿を作成し、代表育成者が保管する。（概ね2週間程度）
- 手洗い（集合時、活動後、トイレ使用后）、咳エチケット（マスクの着用）については、指導を徹底する。（日頃から家庭で手洗い、咳エチケットの周知をする等）

3. 活動場所（環境）の対策

- 活動場所が室内の場合は、窓やドアを開け十分に換気を行う。熱中症や防寒対策も考え、エアコン（ヒーター）使用時も常時、換気する。休憩時間には大きく開放する。
- 手洗い場、入り口に石鹸や手指消毒用アルコールを設置するなど、手指衛生を保てる環境を整備する。
- 活動の中で、使用する用具は必要最低限度とし、共有で使用する場合は使用後に手洗いや消毒を行う。
- 多くの子ども達や育成者が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）の活動後の消毒は、使用する活動場所（公民館など）の管理者に確認し、その場所のガイドラインに従う。

4. 身体的距離を確保した児童の配置

- 机やいすは使用しないことが多いが、子ども間の距離は 2m（最低 1m）程度保つよう、配置する。

5. 活動にあたって

- 活動中はマスクを着用し、大声で話すような活動は控える。
- 握手やハイタッチ、身体が接触するような活動は避ける。
- 活動中、子どもが体調不良を訴えた場合は、速やかに移動させるとともに、保護者にお迎え等の連絡をする。その間は別室で待機させる。なお、各保護者に緊急連絡がつくよう、連絡方法等事前に確認しておく。